

# データで見る益田市の地域経済（RESAS 活用）

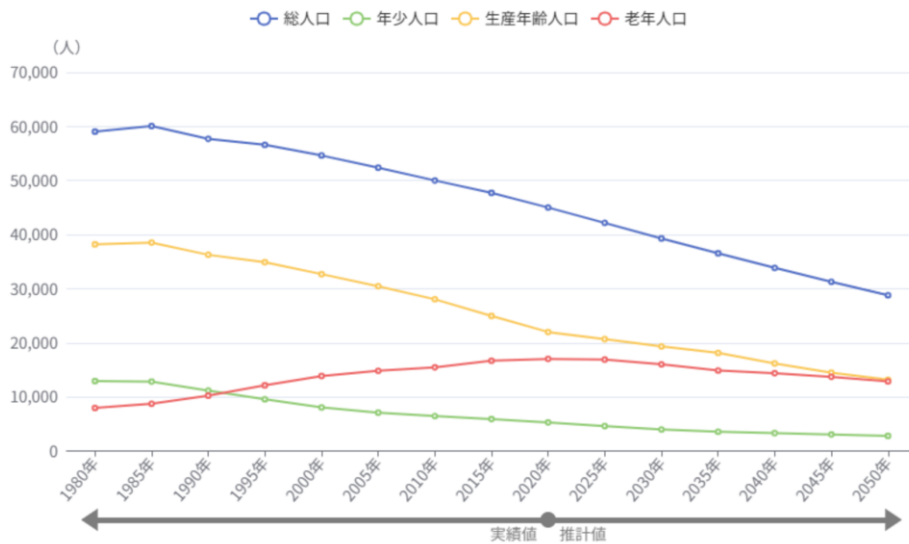
商工会では、RESAS（地域経済分析システム）を活用し、益田市の地域経済について分析を行いました。

## ■ 人口の現状と将来

2020年時点での高齢化率は37.81%（17,017人）であるのに対し、2050年には44.64%（12,847人）まで上昇する見込みです。一方、生産年齢人口は21,988人から13,154人へと大きく減少することが予測されており、地域経済の担い手不足が懸念されます。また、総人口も長期的に減少傾向にあり、1980年頃の約6万人から、2050年には約3万人弱まで減少する見込みです。

人口推移グラフ

島根県益田市

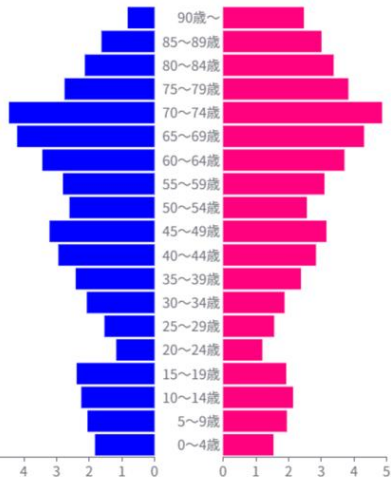


人口ピラミッド

島根県益田市

2020年

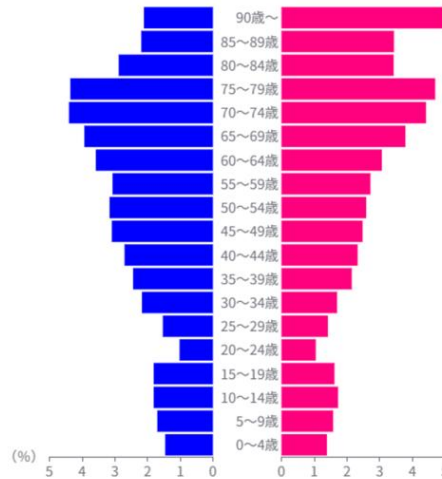
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：17,017人（37.81%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：21,988人（48.86%）  
 年少人口（0歳～14歳）：5,284人（11.74%）

2050年

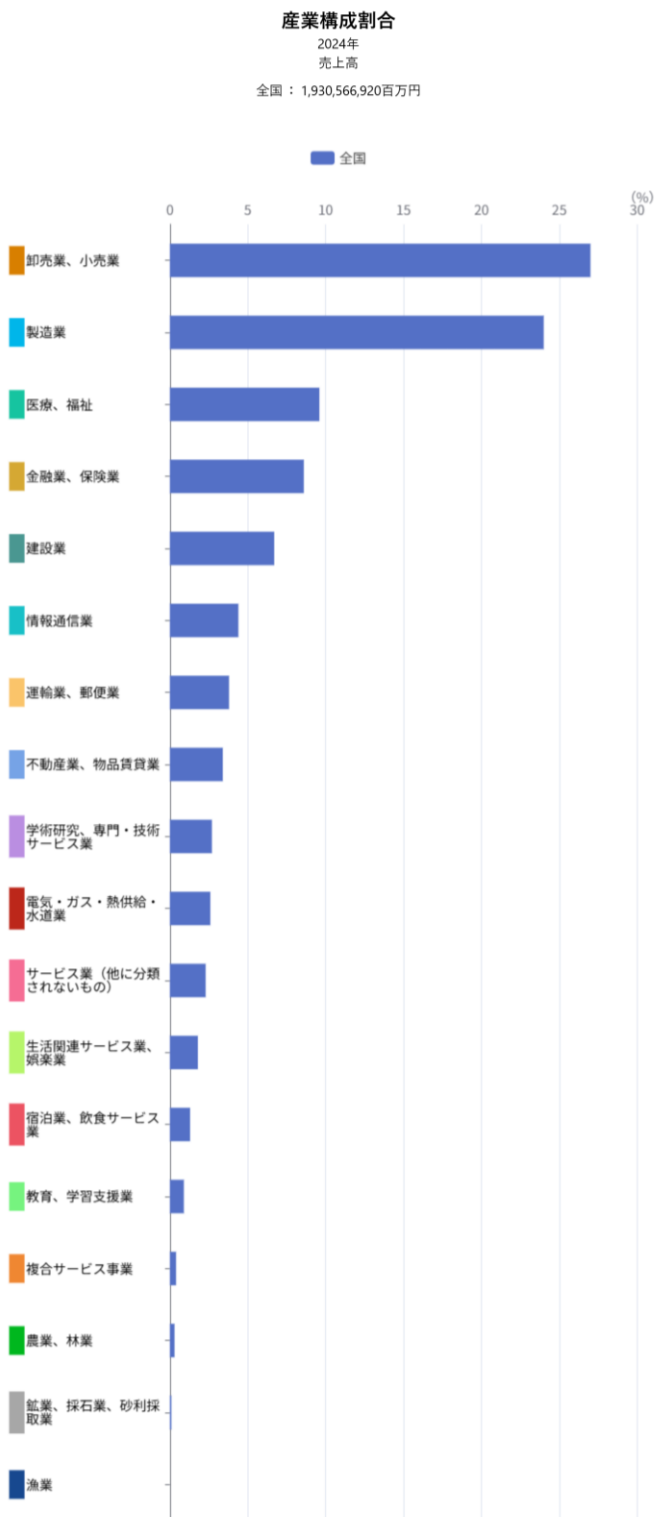
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：12,847人（44.64%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：13,154人（45.71%）  
 年少人口（0歳～14歳）：2,779人（9.66%）

## ■ 産業構造の特徴

産業構成では、卸売・小売業、製造業、医療・福祉分野の割合が高く、地域経済を支える基盤となっています。一方で、宿泊・飲食サービス業など観光関連産業の割合は比較的小さく、観光消費の拡大余地があると考えられます。

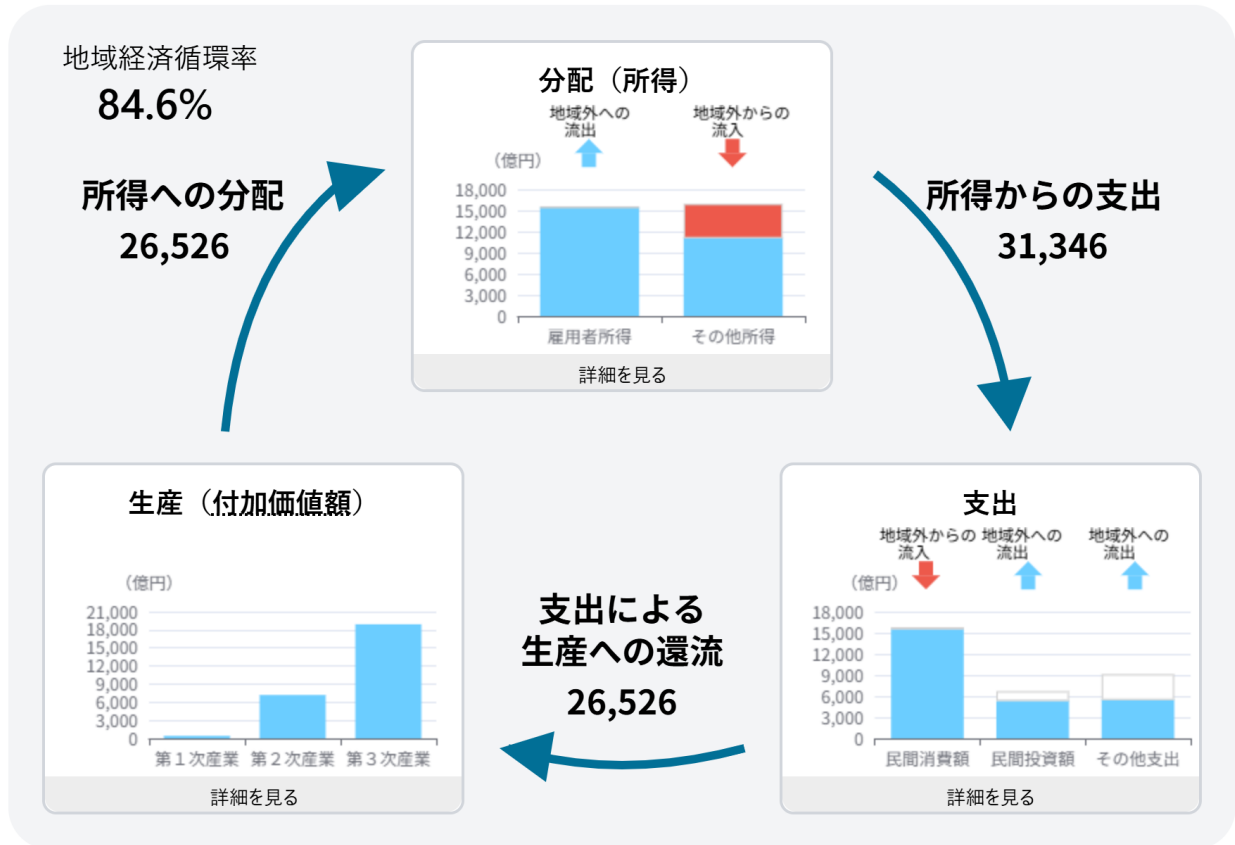


## ■ 地域経済の循環状況

地域経済循環率は84.6%となっており、一定程度地域内で経済が回っているものの、所得31,346百万円が支出として地域外へ流出しています。また、支出流出率を見ると、民間消費は+1.6%とやや流入である一方、民間投資は▲20.8%、その他支出は▲40.3%と大きく流出しています。

### 地域経済循環分析

2022年  
指定地域:島根県



## 付加価値額（一人当たり）

2022年  
指定地域:島根県

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	201万円	931万円	837万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	39位	28位	27位

## 所得（一人当たり）

2022年  
指定地域:島根県

	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	234万円	242万円
所得 (一人当たり) 順位	22位	1位

## 支出流入率

2022年  
指定地域:島根県

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流入率	1.6%	-20.8%	-40.3%
支出流入率 順位	23位	39位	29位

### ■ まとめ（課題と方向性）

本分析から、益田市の地域経済は以下の課題を抱えていることが分かります。

- ・人口減少と高齢化の進行（担い手不足）
- ・生産年齢人口の大幅減少
- ・地域外への支出流出（特に投資）

今後は、地元事業者の利用促進による地域内消費の拡大、宿泊・飲食を中心とした観光消費の強化、地域内での設備投資・事業展開の促進などにより、地域経済の持続的な発展を図ることが重要です。

商工会では、今後も事業者支援を通じて地域経済の活性化に取り組んでまいります。